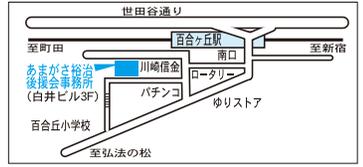




発行所/ 民進みらい川崎市議会議員団事務局  
〒210-8577  
川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所第二庁舎内  
TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

百合丘事務所 〒215-0011  
川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F  
小田急線百合ヶ丘駅下車徒歩1分  
TEL・FAX:044-955-2417  
メール: amagasa-@khaki.plala.or.jp



ホームページ: <http://www.e-amagasa.net> Facebook、Twitterでも情報発信しています。

# 地下鉄3号線延伸による 麻生区のまちづくり

横浜市営地下鉄3号線  
延伸による  
麻生区のまちづくり

## あまがさ裕治の取り組み

2016年4月7日	<b>国土交通省、交通政策審議会の答申発表</b> 「横浜市と川崎市にまたがる路線であるため、事業化に向けて両市が強調して、費用負担のあり方や事業主体等を含めた事業計画について、合意形成を進めるべき」
2016年4月8日	<b>あまがさ、国交省鉄道局都市鉄道政策課長にヒアリング</b> 「横浜市営地下鉄3号線延伸は実現性の高い路線」と評価
2016年11月7日	<b>あまがさ、横浜市長に事業着手宣言を要望</b> 横浜市の今後の動向を調査、「市長自ら事業実施に向けた宣言をすることが、川崎市の協調体制を促す」と横浜市に要望
2016年12月6日	<b>あまがさ、川崎市長・副市長宛に経緯を示した要望書提出</b> あまがさの調査をもとにこれまでの経緯を整理し、「来年は重大な局面に入る」と、川崎市長・副市長宛に要望書提出
2017年1月7日	<b>横浜市長、事業着手を宣言</b> 「横浜市長、新年度から事業費や需要見込みなどの試算に着手する方針」(読売新聞)と報道。調整が実り、横浜市トップからのメッセージが出される
2017年1月31日	<b>横浜市、1億1千万円の調査費計上を公表</b> 横浜市の予算発表記者会見で、林横浜市長は「私自身、川崎・福田市長に両市の連携で取り組んでいくようお願いしている。必ず実現したい」と延伸実現への強いメッセージとともに、事業候補者として交通局1億円、駅整備など都市整備局1千万円の調査費計上を公表
2017年2月28日	<b>川崎市、1千万円の調査費予算計上を公表</b> 民進党の市議会代表質問に、まちづくり局長「2017年度予算に横浜市境から新百合ヶ丘駅までの新線に伴う駅周辺のまちづくりなどの調査費1千万円を計上」と答弁
2017年3月8日	<b>川崎市長、「横浜市は2019年3月までに事業化を判断するので、連携して、しっかり取り組む」と答弁</b> 予算審査特別委員会でのあまがさの質問に対して「2017年度から横浜市交通局が事業候補者として、鉄道事業者の視点で事業性等を検討、18年度末までに横浜市として事業化判断を行うと聞いている。川崎市も横浜市と連携してしっかりと取り組む」と交通政策室が答弁

川崎市と横浜市の  
早期合意形成のため  
意見をお聞かせください

福田・川崎市長にも  
選挙公約実行を求めています

福田市長は2013年の選挙で、自分の公費ポスターに「横浜市営地下鉄3号線の延伸」を記載、特記しています



川崎市議会議員  
**あまがさ 裕治** ゆうじ

2016年4月に交通政策審議会の答申が示されて以降、横浜市に対して横浜市営地下鉄3号線事業実施に向けた宣言を横浜市長から宣言することが、何よりも川崎の協調体制を促す重要事項であるとして、説得を続けてきました。

2016年11月7日、横浜市側の今後の動向を調査するとともに、「トップの宣言」についての要望を行いました。

12月6日、川崎市まちづくり局長に対して、これまでの一連の過程を説明し、「来年、重大な局面に入る」ことを申し入れるとともに、福田・川崎市長、副市長あてに、経緯を示した要望書を提出いたしました。

このような調整が実り、林横浜市長は、2017年1月7日の読売新聞年頭インタビュー「両市で費用負担のあり方などを協議し、合意形成を進めるべき」と述べ、さらに1月31日の定例記者会見において、「横浜市と川崎市の両市の発展には重要なものだと考えている。交通局が事業候補者として、鉄道事業者の視点で調査、都市整備局では駅前広場などの交通基盤の検討を行う」「私自身も川崎市の福田市長に両市の連携で取り組んでいくようお願いをしている。必ず実現したいと願っている」と語りました。横浜市では、交通局調査費として1億円、都市整備局の調査費として1千万円が計上されました。

同時に川崎市も総合交通計画推進予算として横浜市市境から新百合ヶ丘駅までの区間の駅周辺のまちづくりなどの調査費に1千万円の予算が計上し、両市の協調体制を作り上げることとなったのです。

川崎市では現在、横浜市と強調して進むための工程表の作りだしを行い、横浜市と重複なども整理の上、効率的に判断しながら、川崎市の独自調査に入れるように取り組んでいます。

年初よりお願いをしています市長への要望書は、おかげさまでわずか2か月で1000筆を超えました。現在、区内を中心とした多くの団体が、必要な予算を求める要望書への署名活動を行っています。どの団体の署名でも構いませんので、皆様の意志のあるところを表明しましょう。

皆様の思いを  
訴えていきます

市長への要望書に  
ご協力ください

ホームページから要望書がダウンロードできます。

今回の麻生通信では、福田市長に横浜市営地下鉄3号線あざみ野～新百合ヶ丘の延伸を促進させるために、皆様とともに訴え、要望を提出していきたいと思っております。

市長へ要望するために、趣旨に同意する署名欄に住所、氏名をお書き頂き、上記事務所までお送りください。

【署名は要望書以外には使用いたしません】

FAX.044-245-4135